

2. 近隣アジア諸国（想定国：香港）を想定した品目別結果

(1) グロリオサ（香港想定：梱包から開封まで約28～32時間）

① 調査区分

■夏期調査（平成21年9月7日～8日）

品 種 名：サザンウィンド（1品種のみ）〔1束当たりの平均重量≒795g〕

本 数：60本、80本の2パターン（1束当たりの本数＝10本）

保水状態：乾式、保水ゼリーの2パターン

予冷方法：強制通風予冷のみ

入り数	品種名	予冷方法	保水条件	日持ち 日数(日)	内 容 物 総重量(概算)	梱包 具合
60本(6束)	サザンウィンド	強制通風	保水ゼリー	8.4	4.77kg	◎
60本(6束)	サザンウィンド	強制通風	乾式	10.2	4.77kg	◎
80本(8束)	サザンウィンド	強制通風	乾式	10.0	6.36kg	△
80本(8束)	サザンウィンド	強制通風	保水ゼリー	10.0	6.36kg	△

■冬期調査（平成21年1月11日～12日）

品 種 名：サザンウィンド、ミサトレッド（混載）

〔1束当たりの平均重量 サザンウィンド≒808g、ミサトレッド≒443g〕

本 数：60本、80本の2パターン（1束当たりの本数＝10本）

保水状態：取替無（国内流通時に付けられたものを取替えなし）、

保水ゼリー（新しく取り替え）の2パターン

（他の品目との混載ボックスによるテストも実施）

予冷方法：強制通風予冷のみ

入り数	品種名	予冷方法	保水条件	内訳	日持ち 日数(日)	内 容 物 総重量(概算)	梱包 具合
80本 (8束)	サザンウィンド	強制通風	取替無	6束	8.2	6.10kg	◎
	サザンウィンド	強制通風	保水ゼリー	1束	7.8		◎
	ミサトレッド	強制通風	取替無	1束	7.0		◎
100本 (10束)	サザンウィンド	強制通風	取替無	6束	8.6	6.99kg	△
	サザンウィンド	強制通風	保水ゼリー	1束	7.8		△
	ミサトレッド	強制通風	取替無	3束	7.0		△
他品目と 混載(12束)	サザンウィンド	強制通風	取替無	1束	10.6	5.19kg	◎

② 保水条件による比較

調査時期	品種名	保水条件	重量増減(%)	日持ち日数(日)
9月	サザンウィンド	乾式	-3.7～-3.3	10.0～10.2
9月	サザンウィンド	保水ゼリー	+0.1～+4.7	8.4～10.0
1月	サザンウィンド	取替無	----	8.2～8.6
1月	サザンウィンド	保水ゼリー	2.6～3.2	7.8
1月	ミサトレッド	取替無	----	7.0
1月	サザンウィンド (他品目と混載)	取替無	----	10.6

※保水条件の「取替無」とは、国内流通用につけられている保水ゼリーをそのまま使用。

③ 試験結果分析概要

保水条件（乾式と湿式）による差についても、夏期に行った試験で、日持ちの差が見られなかった。ただし、重量増減比率を見てみると、乾式と湿式の差が 8.4%あり、しおれ限界の目安（約 7%）を上回っているため、完全な乾式は、植物生理上危険と考えられる。そこで、通常国内流通でも保水ゼリーを用いて流通されているので、通常国内流通で装着されている保水ゼリーを付け替えないで、そのままの状態での場合を冬期に検証したところ、日持ちに大きな差は見られなかった。一方で、混載のものは特に良かった。

また、冬場の試験で、葉が乾燥しパリパリになる現象が現れた。乾燥した部分から枯れが広がる（下画像参照）。これは、グロリオサは、5～7℃以下になると、茎先からの水分の吸収が落ちる性質がある反面、開封後に一気に湿度が下がり、葉からの水分の蒸散が進み、吸収と蒸散のアンバランスにより現れた障害であると考えられる。基本的に、グロリオサは本来熱帯の植物であり、低温には弱く、5℃以下に長時間おくと低温障害を生じるという性質もあり、基本的に輸送温度は、10℃を目安に行うのが良いとされているが、リパックの温度も気をつけなければならない。一般的に産地での梱包は10～15℃で行われている。

